

目標達成計画

作成日: 平成7年12月16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	火災や地震、水害等の災害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員で身につけるとともに、地域との協力体制を築くことを、今よりも更に進めて安定した体制としたいが、職員個々の状況を考慮すると難しい点もあることについて。	グループLINEを拡大して、非常時の応援体制で活かしていく法人基盤、事業所基盤作りを現在進行中であるが、更に進めていく。	LINEworksなどの業務に適した全職員が加入できる労働基準法やプライバシー保護にも適した連絡網体制の検討を進めている。	12ヶ月
2	4	運営推進会議にて、ご利用者並びにご家族の参加が少ない状況について。	ご家族のご都合、利用者の心身の状況にも考慮が必要であるが、サービス向上につなげるためにも参加をしていただくようにする。	新規契約利用者には契約時に運営推進会議の参加をご案内しているが、今後も継続をしていく。既存の利用者にも積極的に声掛けを継続していく。	12ヶ月
3	6	身体拘束廃止委員会に対して職員からの意見を汲み上げて報告をする仕組み及び委員会での情報を職員に対して共有する体制をより整備する必要がある点について。	職員会議にて都度職員からの意見汲み上げと共有を有効に機能させていくようにする。	職員会議・研修を有効活用し職員間で身体拘束廃止に対して真摯な取り組みを行っていく。	12ヶ月
4	7	虐待防止検討委員会に対して職員からの意見を汲み上げて報告をする仕組み及び委員会での情報を職員に対して共有する体制をより整備する必要がある点について。	上記3.と同様に職員会議にて都度職員からの意見汲み上げと共有を有効に機能させていくようにする。	上記3.と同様に職員会議・研修を有効活用し職員間で虐待防止に対して真摯な取り組みを行っていく。	12ヶ月
5	11	利用者カンファレンスとしてのフロア別会議を充実して、各階ごとの利用者情報及び職員間の意見交換をより充実させていく必要がある点について。	職員会議と併催で各階毎のフロア別会議を行い職員からの意見や提案を聞く機会を多く設けていく。	会議参加する職員からはもちろんとして会議を欠席した職員からも意見を汲み上げるone on oneの膝詰めミーティングも実施していきたい。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。